

名古屋会場

◆来場者①

社会人として多忙な生活を送りながら司法試験に合格された菊間弁護士による、効率的な時間のやりくりや勉強方法の講演が特に印象に残りました。私自身は法学部生ですが、部活やアルバイトなどと両立しながら司法試験の勉強をしており、時間のやりくりを悩ませていたので、とても参考になりました。

正直、大学の法学部における授業は一方通行の淡白なものであり、受講している学生間の意識にも相当の差があると感じています。その点、ロースクールでは双方向の授業、多様なバックグラウンドを持つ人との交流だけでなく、何より司法試験合格という同じ目標を持って努力する人が大勢いる環境で勉強できるというのが魅力的だと感じました。

◆来場者②

私は菊間弁護士の本を中学生の時に読みました。今回の説明会も、菊間さんのお話をぜひ聞きたいと思って参加させていただきました。中学2年生から弁護士を志している私にとって、菊間さんのお話はとても心に響くものでした。特に、「六法と頭と気持ちがあれば、人を助けることができる」という言葉は、まさに私が弁護士という職業を目指すきっかけとなった出来事に通ずるものでした。大学に入って、法律というものの難しさに直面していましたが、今日お話を聞いて、自分の原点をもう一度思い出すことができました。菊間弁護士には本当に感謝の気持ちで一杯です。

ロースクールへの進学という選択肢は、今のところ予備試験の次の選択肢として考えています。学費と時間という面から、ロースクールに進学することは私にとって簡単なことではありませんが、実務家の先生が授業を展開してくださる点は本当に魅力的だと思っており、予備試験ルートを通ると経験できないようなことを経験してみたいという気持ちもあります。ロースクールへの進学は、今日の講演などをふまえて少しずつ考えていきたいと思っています。

今日の講演は、普段なかなかお会いすることのできない実務家の方々のお話を聞くことができ、とても有意義なものでした。特に、弁護士のお二方のお話は興味深く、刺激的なものでした。これからも弁護士を目指して日々努力を続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

阪神会場

◆学部3年生

私は今回、この企画に参加させていただいて、自身の考えがとても大きく変わりました。元々、私は法曹志望なのですが、今後の計画としては予備試験に合格することが第一で、それができなかった場合の予備的な方法としてロースクールへの進学を考えていました。なるべく早く実務家として働きたかったことや金銭面での負担を減らしたかったことがその理由です。

しかし、今回、ロースクール出身の実務家の方々から、ロースクールの魅力についての様々なお話を伺うことができ、自分の考えが、来年の予備試験に合格しようがしまいが、ロースクールへの進学はしようという考えに変わりました。

私のこの気持ちの変化は、この企画の第一部で、実務科目の存在と、教授や優秀な同級生と関わることができるという、2つのロースクールの魅力を知ったことによる変化だと思います。

また、この企画の第二部での懇親会では、実務家の方々が、これらのようなロースクールの魅力だけではなく、司法試験の勉強の際に役立ったことや、司法修習についてのお話し、実務に就いてからのお話などについての質問にも答えてくださったので、とても将来のためになりました。

さらに、この企画の第三部では、大手総合法律事務所の見学をさせて頂き、将来のビジョンを描けたことで、勉強へのモチベーションを上げることもできました。

今後もこのような企画があれば、また是非参加させていただきたいと考えています。この度はありがとうございました。

◆学部2年生

今回参加させていただいて、ロースクールでの学びの期待と、弁護士になりたいという想いが強くなりました。

第一部では弁護士の方からロースクールでの授業の内容をビデオを使って紹介していただきました。将来実務に出た際の具体的な授業も展開されており、司法試験のために勉強ばかりしているというイメージとは少し違い驚きました。学部の授業ではそのような実務的な内容を取り扱うことはないので、ロースクールでの勉強が楽しみになりました。

第二部では弁護士の方との懇談会が開かれました。実際弁護士の方とお話しする機会がなかったのでとても新鮮でした。弁護士と言っても色々な方々がいらしてとても面白かったです。

第三部では、大手弁護士事務所に訪問させていただきました。実際に弁護士の方々が働い

てらっしゃる場所に立ち、働かれている様子を想像すると、弁護士に対するあこがれと将来に対する期待が強くなりました。

正直弁護士を目指すという決断にとっても大きな不安を感じていました。しかし、弁護士の方からお話を聞かせていただいたり、弁護士事務所に行かせていただいて、やはり弁護士になりたい、目指してみたいと思いました。弁護士という仕事の魅力を肌で感じることができ、今回参加できてよかったですと思います。

◆高校3年生

私は、弁護士を志望しているにも関わらず、まだ高校生で本格的に法律を学んでいません。そのため、今後どのようにして法科大学院や司法試験に向けた勉強に取り組んでいくかがイメージしにくい状況にありました。そこで、法科大学院についてより詳しく知り、少しでも弁護士になるまでのプロセスを明確にしたいと考え「ロースクールへ行こう！ 2016」に参加しました。

まず第1部では、法科大学院で学ぶメリットを知ることができました。特に、教授との対話が、司法試験に合格するための力すなわち法的思考力や発想力を養うことにもつながるという話は印象的でした。他にも、実務科目がどのような制度で、どのような魅力があるかなど、私にとって新鮮かつ興味深い話ばかりでした。

第二部では、弁護士として実社会で活躍されている先生方に直接質問することができました。私は5人の先生方と交流することができ、どのように法科大学院入学のための勉強をしたのか、あるいは法科大学院入学後はどのように司法試験に向けた勉強に取り組んだのかなど勉強面でのコツやメソッドを中心に質問しました。また、私のどのような質問にも真摯に答えてくださる弁護士の先生方の姿勢には、大変感銘を受けました。

最後に、今回のイベントに参加したことで、法科大学院の制度や魅力を詳しく知ることができ、弁護士になるまでのビジョンがより明確になりました。本日は、貴重な体験をさせていただき、大変勉強になりました。次回もこのような集いがあれば、ぜひともまた参加したいと思います。有意義な時間を提供していただきありがとうございました。